

1. 研究活動

<p>「占領下公民館史研究序説 (12) - 日本文公民館構想案の変遷と J. M. ネルソン -」</p>	<p>2012. 3. 30</p>	<p>『名古屋芸術大学研究紀要』第33巻</p>	<p>GHQ/SCAP 文書から見つかった日本文公民館構想(文部次官通牒)案を朱膳寺春三氏の指摘した「もう一つの次官通牒」及び実際に発せられたとされる文部次官通牒と比較しながら、GHQ/SCAP・CI&amp;E 教育課の成人教育担当官 J.M. ネルソンの果たした役割を勘案しつつ、それらの歴史的な位置づけを考察した研究。</p>
<p>「愛知軍政部月例報告翻訳」研究</p>	<p>未発表</p>	<p>未発表</p>	<p>共同研究者：新海英行、石井拓児、榊原博美、村瀬桃子、林恭子。共同研究者で構成する占領期社会教育史研究会で翻訳発表を前提に1946年8月下旬のSemi-Monthly Reportをはじめ1947年2月からのMonthly-Reportを含む愛知軍政部の報告文書を月例の研究会で詳細検討する翻訳研究。</p>

「民衆芸能教育の研究」	未発表	未発表	2006 年度に愛知県の小学校で実施した「民衆芸能教育」を基礎に、全国で展開されている小中学校を中心とした和太鼓・民舞への取り組み（「民衆芸能教育」）で創出されている教育的価値を抽出する研究。
「障がい者社会教育の研究」	未発表	未発表	かつて名古屋市を事例として取り組まれた障がい児・者の調査・実践研究を基礎に、精神障がい者にやや焦点を当てながら、生きいきとした地域生活を送る為に彼らが必要としている地域学習文化活動やそれらを支える地域住民が必要とされている地域学習文化活動の実践創出の可能性と限界を明らかにする研究。

## 2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目 教育方法論		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
学生の学習の自由を最大限に保障するために、感性と知性を十全に働かせて自由記述に近い課題（感想）文を書いている。その触発教材として「教育方法」を感じてできる視聴覚教材を精選した上で活用しており、講義に主体的に参画できる工夫を行なっている。	視聴覚教材の精選されたもののほか、その参考資料として活字・写真等で示した各教材の参考プリントを必ず作成・配布して、より深い感受を導いている。また、基礎的・基本的なプリント学習用の教育方法論資料シリーズを作成・配布・検討しているほか、感受のより一層の促進のためのプリント資料も作成・配布・検討している。	
授業科目 教育課程論		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
学生の主体性を引き出すために、教育内容編成に学生の意向を反映させることができるように工夫しており、所感を書いてもらう折などに、講義内容に対する要望、意見、文句などを忌憚なく寄せてもらい、それらを柔軟に講義内容編成に反映させていくことを積極的に行なっている。	精選された視聴覚教材を準備するほか、学生の感受の契機となるような各教材の参考プリントも必ず作成・配布している。また、基礎資料として各種法令や学習指導要領に関するプリントを当然の如くに作成・配布・検討しているほか、感受性を刺激する韻文のプリント資料も作成・配布・検討している。	

## 3. 学会等および社会における主な活動

日本教育学会		会員
日本社会教育学会		会員
民衆芸能学会		会員
日本教育法学会		会員
日本公民館学会		会員
社会教育推進全国協議会		会員
愛知保育問題研究会		会員

占領期社会教育史研究会		会員
-------------	--	----